

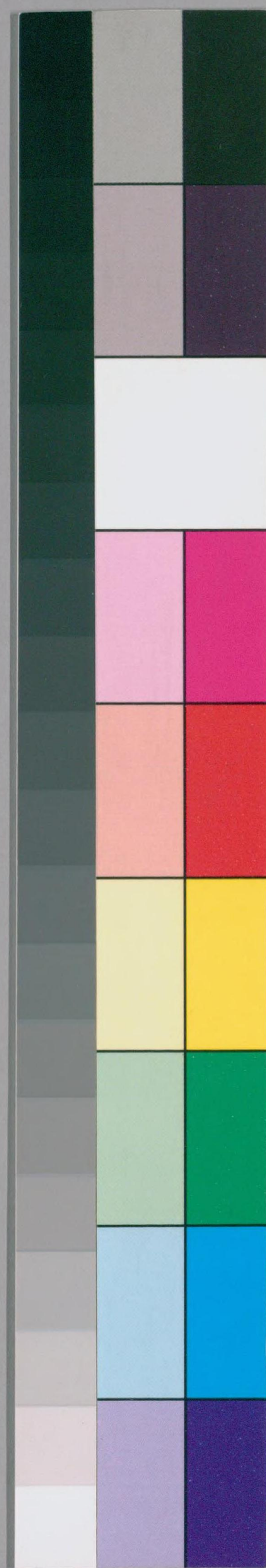
丙午

831
77
95

過眼録

七拾七冊之内
四十九

四十九

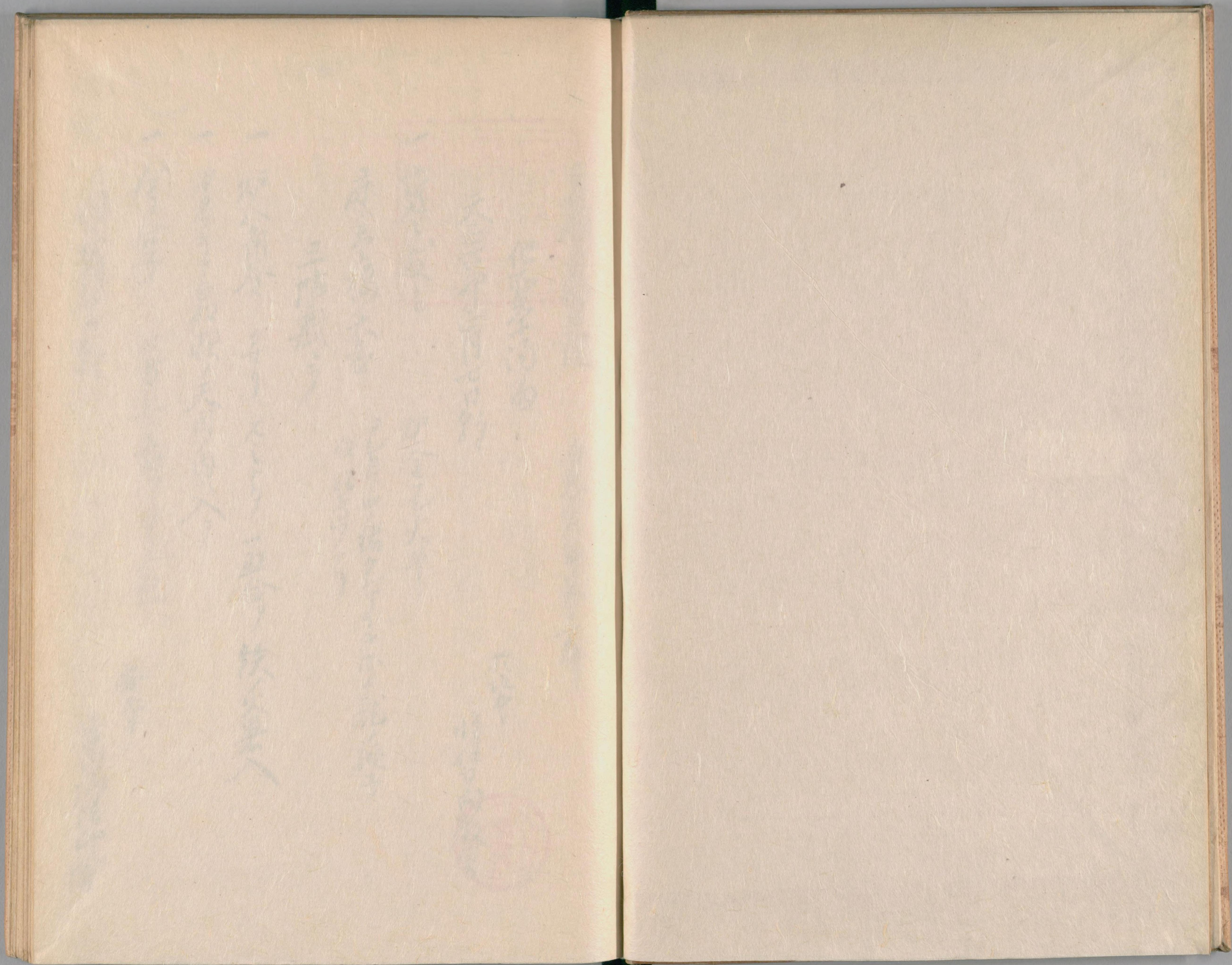


国立国会図書館 タイトル『過眼録』 請求記号 831-95

ガラス使用

西
過
眼
録

陸



国立国会図書館 タイトル『過眼録』 請求記号 831-95

ガラス使用

宗及事の日記 自天正六年壬午

他事系の湯

天正六年二月七日



炬火の火斗

赤い橋の火斗

尺五口緒クレイノ不ノ龍ノ種子
但名ノナリ

三階敷

一 炬火の筒 弁リ ストリ 五合ヲ 焚ノ火若入

一 カ名キヲ 取ルノ天目内へ入テ

一 合ノ字 四方ノ 壺ヲ 色ラニ

同日二月十日

安書

宮内御法印會

於坂

任日向



一 釣物イモカシラ

一 床ニナツノ ナシチニ
桐ノウキニキケ

油濁天目ケイシヤウシ

一 床晚漬給掛ヲ 玉洞 亀ノクメ水卜

一 月廿七日巳 宗祝合 是左郎友 友

一 床杉山石 カウラヒニ遊リ

一 長板平倉 備前水筒 好ニハシ

一 花ヨリハ鳥キ天目垂ニス 切目茶桶 為茶 子札茶碗

一 月廿八日卯 道比合 是左郎友 友

一 床ニカガヒ カウラヒキキナシ
儀カケテ

一 小板多々倉 一ツ 備前水卜

一 手水筒ニ茶落テハ鳥キ天目垂ニス

二色ヲ手桶ノ前ニ有シ

茶ステラ茶取出テカガヒカケル

一 月廿九日 佐合在右郎友 友 宗二

一 長板平倉 手桶 備前水卜

カウラヒ茶碗ヨウリ 何シカニ茶桶ニ友板ニカケル

登シハ持セラ 即ち茶ヲカケル

前相違信相取同カケル 茶ニ出テカケラカケル

一 板ハニシテ此の秋ニ持えそ月々七名の神の御守



名のしりぬ月をくらゐの徳一の松葉の根の松風

日向及分形

佐信 具左印信

ニ高物印 土着者言教トカクキ天自トサラシム

座鋪

ニ法印

ニ友

宗上印

山上宗二

一 存天自表

法印土着天自

一 炬下シホリク倉

ホククナリ

一 手水間ニ手押おラ

カクヤ表 白地をラシキニ
天自ニシカ合ラキニ

手水間ニ手押前ニ色ヲシキ

内より大カク表水トシテ存茶ニ天自をモキキカク天自法印表

尸子ナク

南黒ニラ生員アリテハケキニ
左印 南同ニナクシテ焼物

飯

ニ張アリキ地紙ナリニ是モクニテ

桶 色ニ限ニタニシ

箱ヲ書テ

ハツ在

物モリテ

名子印

カニ汁

菓子ヲチ島八角ニシラ区ヲ折シモクニテ

カホフ キリク

シク一枚

左園物自アリテ

酒ノ前菓子出ルム

巨殿守ニテ

折テ表教ニ取物を、振舞

同上有古物

宗惠信

宗司

炉日名示 後ニ手拍

床猿身ノ細梅生テ手水間ニケラシム



全ニラタミラ
尾子貞小神ニ電玉イム教四ツ

同存青土白粉 池田丹存會 依是五印及 子及 子二

ツハ口前也

一 床ツ口家 今ツラクニエテ

一 平倉風炬 杖ツ後 手箱

一 客人被坐ハラヨリ家ツラツト切依是花ヲ入ラセ 白八也

手水留 池丹印花ヲ生ラレム

同存土白粉 高法會

一 床言也 杖 刀ヲラクノ 新ナリ 前。仏

一 根弱言法 杖 小杖 手箱

後 上標一法印ハ云ムテ汁ニ可化シ由法儀 此証只標標也

同存土白粉 九鬼在子及會 子納 子及 道和

一 炊ノ鳥毛卷 自在

カラライカ巻 手箱 推弄指汁 焼附 鯉ノ子

同存青粉 道和會 九在子 子納 子及

一 炊ノ鳥毛 自在 初ハ カラライカ巻

推弄 指汁 白鳥サシ 烏ホコサテ 黒味噌

菓子之候 ウスカラシイタリ 寸名

同存青粉 推任白守殿は言人教 尚并花子及

一 床言カラ花紙 水仙花生テ



一 炬ナリ各ツリテ

一 床ニ大燈ニ置流 手巾掛ラ
花入ラケテ

一 カワライを焼 手巾留ニ付テツツテ

一 カタクキルナシニ袋ナシ茶ヲ入テ飲テ友也

一 飛テテ持出テ 京都ニ持日ニ夜ハ水ナリ

一 大壺 高直云 飲茶の持テ出テ友人ハお茶ヲ切テ

豆次ノ向テ

炬ニ固卷 クワリ

同書呪ヲ用ラケテ 高直内所シテ

一 豆ノ炬

一 手箱 カワライを焼

右ニ惟日ニ沙道具具

大燈ノ字モ始ラカ

カワライを焼モ始ラカ

落葉茶壺始ラ 又折シモ入テカ

薬色ヨシトテ存シテ 辰ノ色ニモトクテクニ出テ葉ノシテカ

同ノ上ヨシ物 お茶壺モ推日ニ合者

一 炬ニ八角金クワリ

一 床ニ飾物ノ付テ入 シヨクニ

一 大壺 紅茶ニス



一 瀬屋目

貝殻
イト茶ワシ茶を合テ 前ノ龜ヲク

宗及茶をイタシシ 惟日ニ道貝色ニおん公

テ水指兵ニテ シホクが 只好色ニおん公花合ニ色入トム

小神アウレ 子及 吉相おん公 但カウウナリ

一 大茶後指日指公甘乳ニ越トム

右ニ茶房おん公

天正九年己酉月日 山ノ官

主及 協和

一 ツルツル茶ニ茶ヲ入テ

が火を 自在、カウライ茶院

同肩ハ口外 熊島 宣法茶合 子約 子ニ 子及

一 席ニ茶を合 茶以ノテナリ

一 杯ニ紹興茶張 子ナリシ

一 袋柄ニ中道肩御方等、 尾崎妻ニヨウシニ目

下ニ赤倉ノタライ 金ノウナリキ

茶系カウライ茶院 茶先入シ ホウカウロ

同日付セリ外 園ニ茶坊合 子ニ 子及

一 風砂ニテウカキ 子柿

但ニ 多院子ナリ

依名官在ナリ耐散分ニ易、 此後ニ茶ニ子易ヨリ合ニ子及

同肩ハ口外 茶と茶房相合



一 此花ニ種裁ハ信州ナリ用ニ信州ノ果ヲ用ルルニ似テシ
形ハ赤クハ丹桂トシ

一月方古通ニ平身ニ忌ヒ化令キトク

同十月古物 襪ニ味令 二五内ハ法 二五友

一 赤ニ柘原長身ニ 二五葉生ラカクツキ方身 二五キニ之袋

一 炸クシ其 白在 二五ノ炸

一 手水間ニ花入内入レテ カク年屋兵取引ラシテ

一 後院ハイカ年ニ同思書ニ 手抄 土物 水下

一 原ニ年ニカ名中床印公造上ナレハ 位カツラ物カ
カクツライカ

一 房系前ニ玉垣久味持セテ 但ニ年ナリノ家ニ入ラズ令地ノ
白子金ラン大モニニ年ニ結ワリ 紅色カリカニ年ニ内ニ玉垣下ナリ

ハナクニ白唐汁

一 信ニ系統カボコ 崎物 山榊 二後 二五イカヲナラフ

形本蹟ナリ 二五脚ルニ更ニ 飯 二五おやり 内ヲクセテ

菓子金相 菓子金相 菓子金相 菓子金相 菓子金相

同十月土白粉 道是令 納及

一 赤ニカ名中身ノ トシ色 金録袋

炸中ニ令 自在 少クイカクニ春目ニ書ニ 人形系ワ

道是ニ 赤トシ色 俵外物面神

肩衝再ニ迄 但前ヨリ 土糸ニテ 糸カタク 面乃ニツ右ナリ

一 錦 但ヒクイ 一汁 飯 紅系餅引テ



菓子焼栗カキシバ ツキモチコハリ七夜
ツラフ

同内工方より相沢の儀に由南都の御出は早し
深洲の承安の事の上候古日本刻の上標の礼の御
拜領の

口青三右衛門 神祇三右衛門

一 炉子テトリカ 榮兵衛時大目水宿

カワライキヤ 佐々木下

一口板 二右衛門三右衛門

一 池田徳信守殿 徳信印の遺下を重宝の御子 森上林三徳兵衛
右ニイサウ候アタリ候不実 宝納有佐坊主ニ 宗千及
床ニサ他之寄信ヲ掛ル候ヲ拜見

モ名川子に信三は信山三三は信三ニカスガキ入江ナリ
山ニ吾有リ物ニ吾クモリヲ表子ト白金地金ニ大モノニ

ツル中ヨカハリカ地トモニ文字は祿カウノトモ

一口青三右衛門 神祇三右衛門 神祇三右衛門

一 床大巻掛アミロク

一 炉子テトリカ 手水石 舞入戸 二ツナス

竹多の收り及ドム 房系カウライモ

又又カドムトウカナリ物土興ニ草ヨム口ツクリ興

竹多の古キモ物モツトウカナリサキハカクヒ

口青三右衛門 上落之落次御筑極の自にカウ即次本

今慶拜領の道具共ニ官ヲアリシ由に所ノ品ニシ

オセカ根茂五郎

一 炉子ニ 上標ノカウ

一 床ノメ信三ニ拜領 善徳院公名目御所ノ品ニ 珠信
竹多の



同言目録 針巻和管 五卷入

一 炬シシ倉 五巻 後手抄

カ多ク多クシ 正方巻取出し床へ
茶色目シタリヤリ高シ次大カク
茶院ハ 公方杯シ 差院後 上條宗和由中前衛召シ
之ハ時ハ遊ハ拜缺ハ在由傳中取シテ前モカク

同言目録 針巻和管

一 風船ラシシ倉 後手抄 凡ホシクト云テ字方是シ概考院

但 正考多クシイタムハ此書始カクカク書シト云テ書リ
カヨトカクハ此書ヨク下ニ取ヨリナリクカクカクハ九
丁書ナリ

同日登 旅都 正信杯前 子 子

一 長板 庄儀 三抄

ハ正福始カクハ引松取持ナリ 色ヨシマナリクカク
カヤ中カ物ラウラ尺シラフタニシカ物ナリトワテカカ子
ヤリカ物ヲカナリヤカクカ物ナリ抄ノ三抄カ抄

同日書 旅都 正信杯前 子 子

廿二日 上條宗和成在書シテ是物城介標各之門ハ衆行
モ被カキ拜カクカ物所衆ナシト云カ始テ古ノ書ハ即西三人
長靴露拂カキ舞シラフコトキ口只存即丹波梅若
大夫所能信ハ能シモスラ次ニカラサト云能ハ是ハ具時
上條ノ氣色悪ムハ有シカラシラムカ太夫在席ハ一由ハ仰也
ハ又書カキ和由書カキ舞申セト云云シテ是ハ公ハ舞カキ
カキ十枚カキカキカキカキカキカキカキカキカキカキ
云云言ハルカキ又能ハ一書信ハ是モカキカキカキカキ
同日書 旅都 正信杯前 子 子
此信ハカキカキカキカキカキカキカキカキカキカキ



天正十年七月二十日 上野の生言也

信長が身許に於て復す可き事と云ふ事申すに信長は御公衆に
可なりと云ふ事有るに近上りし天正十年七月二十日承信言に信長申すに
曰六月廿日於大坂城中七兵衛殿より申すに三十七夜申すに及ぶ人
の之後也即ち首領北に三カケルに七兵衛殿より申すに及ぶ人首
領迄と申すに三カケルに

曰六月廿日信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
曰四月廿日信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人

曰七月廿日信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
夜中申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
所に申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人

曰七月廿日信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
曰七月廿日信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人

曰七月廿日信長申すに及ぶ人

曰七月廿日夜於大坂城中信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
拜見後何ぞ申す事有るに信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人

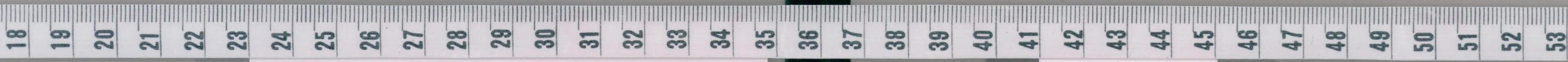
曰七月廿日夜於大坂城中信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
明目也 信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人

教寺泊物 信長申すに及ぶ人 信長申すに及ぶ人

先之凡名被破る 信長申すに及ぶ人 信長申すに及ぶ人

曰七月廿日夜於大坂城中信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人
信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人信長申すに及ぶ人

浦に於て信長申すに及ぶ人



一 多岐多岐ノクニ

日子再ニ包表具トテモモケテ中宛金祿ニテ字氣祿モモケ
金祿金記ニテ字氣モモケ但カクナリ印ラリ字病ノ
已ニ改ヨリ枝(口)字氣モモケ字氣祿モモケナリカクナリナリ

日十月十日ヨリ 多岐多岐ヨリ

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

セロキ

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

古行行候
他出字モ

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

玉仲候

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

明録候

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

他出
表氣モ

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

一 工口ニテモヨリ

工口ニテモヨリ

表氣モ
玉仲候

日十月十日ヨリ 多岐多岐ヨリ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

一 床カシシ

床カシシ

口ク口リ信塚ワキニシリヤウ左所アリケワウハ花菜ハ秋子ニ作セヨシラ
シニハナシト云キ長馬ト云フハ平々ニセシヒク想ホク書カケタリト云フ也

日後ニテ告知 針包 湯管 針管 針包

一 針包 手箱 一 針包 手箱 針包 手箱 針包 手箱 針包 手箱

日後ニテ告知 針包 湯管

一 三介存之礼ハ古ノ夜拜歛

日後ニテ告知 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 針包 手箱

一 床帳ワリテ

一 花ニテハ花ニ

一 手箱ニテ客人ノ意ニ

一 花ニ 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

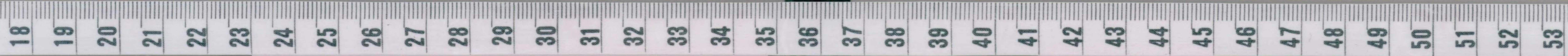
一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管

一 湯管 針包 湯管 針包 湯管 針包 湯管



一 七毛小坂ニ手水向ニ銀瓶ノモルヲ 五毛 子ノ目
一 数珠ヲ是袋ニ 看袋ニ 大之寺看袋ニ 多ツキ中

丹ニ名ワシク 五毛入十ツノ名入トム
ドウラシノ用ニ 五毛花ヲ生ルル鬼丹ニシテ 生ルル花ヲ多クニシテ

宇ガ多仍日記

ノ天正五年至十三年秋

客ノ留

天正五年十月五日 於大坂

此所存ノ物 所ノ名 品切 後田評女版 前田又左衛門版

一 床カマシモ名板 全巻記述生テ

一 炬ノトシクテスリ 今在

一 是子上ニ 文書ノ多ク 下榻合子ニツク

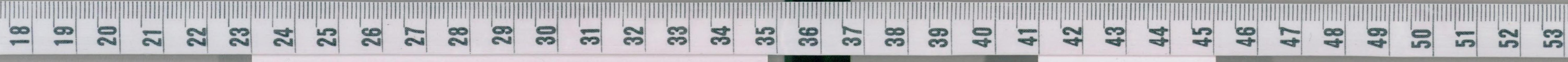
一 籠ヲセシカラテ 五毛文 五毛キテカラテ 柘栲ニ付ニシテ

一 名酒付ルルハ 再金ノ合子ニシテ 柘栲ニ付ニシテ

一 口ナリテ 五毛深板 柘栲ニ付ニシテ 五毛向方ノ版

一 床ニドウラシモ名板ニ付

一 飯前ニシテヤトキニシテ 五毛ノあニシテ生ルルセリトシテヤトキニシテ



五ノ中ヲカフ子ニ添ヒテ 爲ニ掃部七郎ト爲ル

一 研ハコト 傳ハコトニシテ 爲ニ掃部七郎ト爲ル 主部 傳ハコト

一 是ノ自カヨリ抄部者自カヨリ兵衛天目ニシテ

曰コトヨリ 上ノ條ニシテ成ル

一 席細 爲ニ生シテ後 一知コトヨリ生シテ

一 分リテ生シテ 爲ニ生シテヨリ 傳ハコトニシテ 面ヲ

云ハコトヨリ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 床花入 細爲ニ生シテ 一知コトヨリ 抄部 爲ニ生シテ

爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

曰コトヨリ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 田口 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 書ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

曰コトヨリ 爲ニ生シテ

一 和ハコト 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

曰コトヨリ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 分多 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

曰コトヨリ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 床花子 爲ニ生シテ

一 文殊持ハコトヨリ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 菓子七位ニシテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 辻馬拜飲 カケカス毛(馬)

曰コトヨリ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 床花ハコト 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ

一 有ニ生シテ 爲ニ生シテ 爲ニ生シテ



右者乃乃記合而土内他所之官毎々之官八何古信寺
付山通者物之儀行所本也凡此等寺之之物可正物之
トテ都念十古也表新テ神交之有ハ方 亦大守之儀行
大守セシメ之者古官テ正後軍

又詳年件

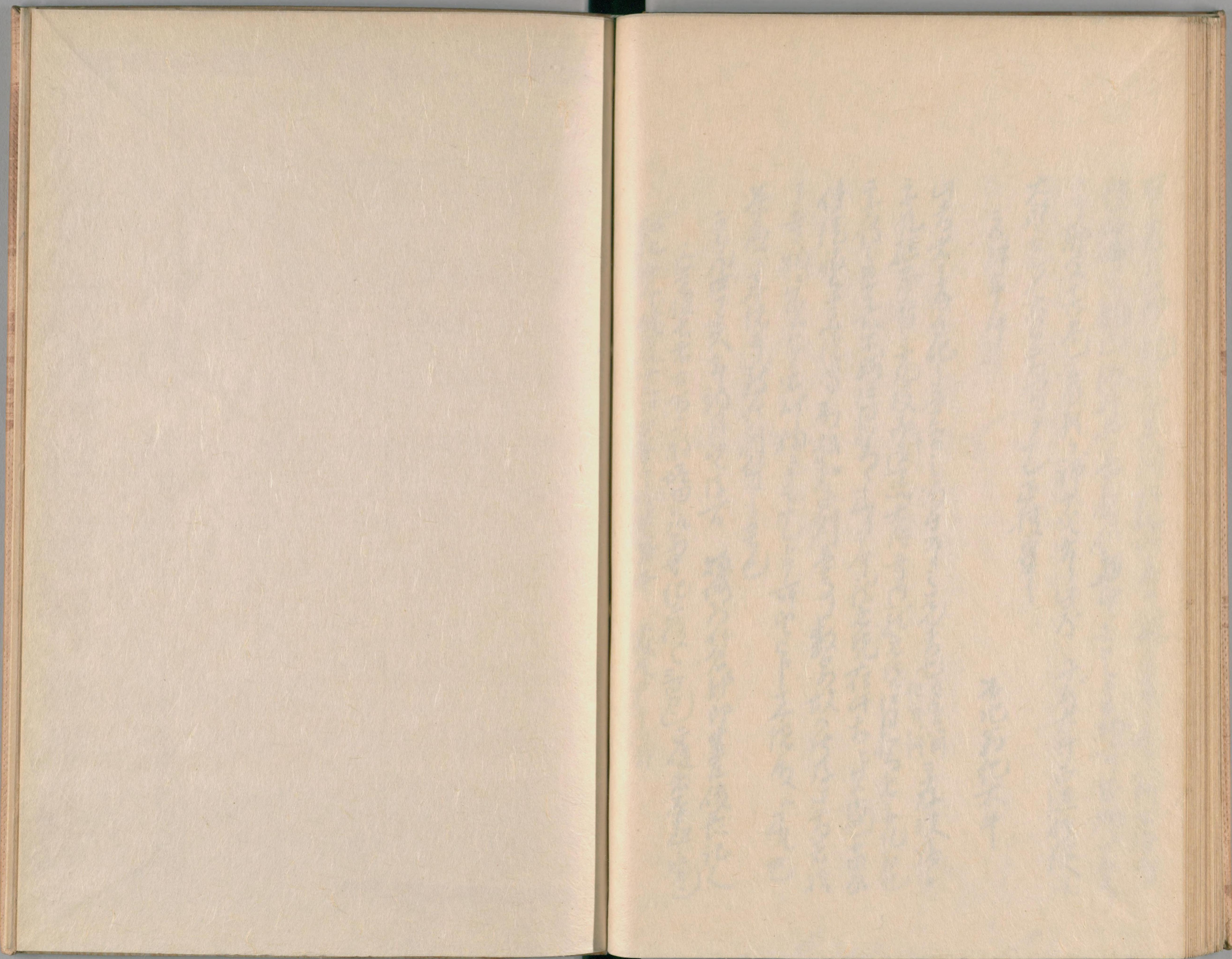
本記約紀太平

曰者者之存化之者言之角ハ者之是者也自官毎々存没場子
子化極者有子化改而之流古信寺内就之儀に日何者子化也
系傳之者不新に日何者トテ今就之儀行所也其内也苗原
侍儀極者子化寺而極之則其の教者故之存及ハ者者指
テ寺物之儀行所物之七トテ所也トテ其儀及ハル也
善者之存儀行所化則其之号也

之レハ古テ矣年物月也信者

物誠其化信部即豊在後長記之

大守後長者古明之儀也凡此等寺之儀に日何者子化也
凡此等寺之儀に日何者子化也
凡此等寺之儀に日何者子化也



国立国会図書館 タイトル『過眼録』 請求記号 831-95

ガラス使用

831
77
95



国立国会図書館 タイトル『過眼録』 請求記号 831-95

ガラス使用